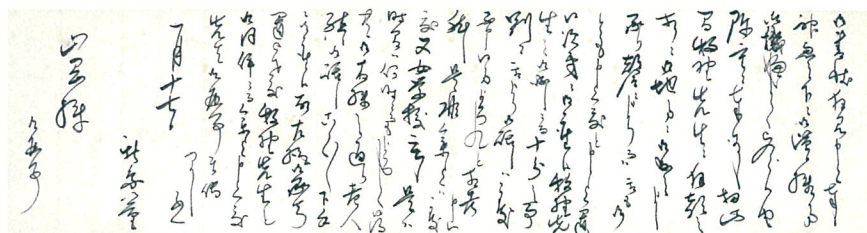


新出の新島八重の写真と書簡



このほど新島八重(1845—1932)の写真(左)と書簡(下)とが、それぞれアーモスト大学史料室と山岡家(岸和田市)とで見つかった。

前者は撮影の年月日、場所とも不詳。後者は1917年1月17日付の山岡邦三郎宛。書中の「牧野先生」は牧野虎次(のちに同志社総長)。山岡邦三郎(1861—1946)は1884年の同志社英学校普通科の卒業生で、牧師を経て出身地で実業に従事していた。八重の米寿(1932年)には「八重ね(はちかきね) 祝ひまつりて百歳の刀自の齢をなほも祝はん」と詠んでいる。



御書状拝見申上奉候、
神慮之下二御皆々様方
御機嫌よく被入ら(せ)候由
珍重に奉存候、扱此
間牧野先生二拝顔之
折二、御地方二お出之よし
承り、都合二より而ハ私も御
候次第二御座候、牧野先
生之御咄し二而十分之事
別ニ私より御話しハ致
不申候方よろしくと相考申候
然し是非参上ハ致
度、又女学校云々も是ハ
時間ハ何時ニ而もよろしく候得
共、御相識之通り老人
誠ニ御話しこく下手
ニ御座候故、左様御承知
置被下度、牧野先生と
御同伴ニ而参上申上度
先生御返事まで

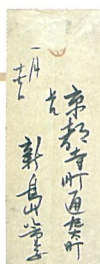
一月十七日

早々不一

新島八重

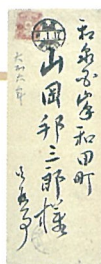
山岡様

御返事



(封筒裏)

京都寺町通丸太町上ル
一月十七日
新島八重子



(封筒表)

和泉国岸和田町
山岡邦三郎様
御返事

名誉学位授与式

女子大学は十一月十九日、同志社礼拝堂において大韓民国ソウル市在住の金玉羅氏に同志社女子大学名誉文化博士の称号を贈呈した。

氏は同志社女子専門学校英文科を一九四五年九月、敗戦の混乱のなかで卒業、帰国後は女性社会教育活動に献身し、韓国における女性の社会的地位の向上に多大な貢献をされた。この名誉学位は、氏のこれらの活動と業績を称えて贈られた。



当時のクラスメート、韓国からの留学生、子息たちもかけつけ祝福した。



中学校体育祭

(10月5日・中学校校庭)

大むかで競走や台風の日などで
白熱した中学校体育祭。

幼稚園クリスマス祝会

(12月17日・新島会館)

幼稚園のクリスマス礼拝では、全員でイエス様のご降誕をお祝いし、祝会では、園児たちによる劇や歌が披露された。

